

感染症情報 6月11日～17日

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1389例(堺市	70例)
②溶連菌感染症	582例(堺市	66例)
③咽頭結膜熱	211例(堺市	21例)
④突発性発疹	124例(堺市	7例)
⑤みずぼうそう	89例(堺市	12例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	10例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比5.4%減の2,669件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、突発性発疹、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より9%減、堺市では前週より22%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より9%減、堺市で前週47例→今回66例で40%増であった。咽頭結膜熱は府下で前週比6%減、堺市で前週13例→今回21例であった(62%増)。この21例のうち当科は5例であった。みずぼうそうは府下で前週より24%減、堺市では前週が10例で、今回が12例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。